

12年間の取組

教育ビジョン

地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

4年間の取組
(令和3～6年度)

3つの重点目標

12年間の飯田市の教育ビジョンと、教育振興の6つの方針、さらには取組の12の柱を踏まえて、令和3年度から令和6年度までの中期4年間に、重点的かつ組織横断的に取り組む「重点目標」を以下のように掲げます。

重点目標 1 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む

アクションプログラム

■ 学力保障・学力の向上

お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進めます。また、コロナ禍への対応を含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|---|----------------------------------|----------------------------------|
| 全国学力・学習状況調査における小学校国語、算数、中学校国語、算数の全国平均との比較 | 小6国語○ 小6算数○ 中3国語△ 中3数学△ | 小6国語○ 小6算数○ 中3国語○ 中3数学○ |
| 自己肯定感(自分の良いところ)全国平均差 | 小-1、中-3 | 全国平均 |

* 全国平均以下の状況。令和6年度までに全国平均を目指します。

■ 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援

日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--------|--------------------|--------|
| 不登校在籍比 | 小 0.87% 中 3.91% | 前年度以下 |

* 不登校児童をなるべく増やさないよう前年度以下の在籍比を目指します。

■ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進

飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めます。

■ 食育の推進

学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組みます。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|-------------------|--------|--------|
| 飯田下伊那産野菜主要10品目使用率 | 54.1% | 55.0% |

* 地場産物使用割合全国平均26.0%(H30)。現状も高いため現状維持を目指します。

■ 子どもの読書活動の推進

子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報を活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組めます。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--|----------------------|--------|
| 授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合(県:小6-69.0%、中3-57.1%) | 小6-67.1% 中3-55.6% | 県平均以上 |

* 日常的に本に親しんでいる児童生徒の割合。現状は全国平均以上ですが、全国平均より高い県平均以上を目指します。

■ 児童の放課後の居場所づくり

就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進めます。

■ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組

児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんなで考えていきます。

■ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動対応

児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適應した校外活動に取り組めます。

重点目標 2 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む

アクションプログラム

■ 住民の主体的な学びあいの支援

住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|------------------------------------|--------|--------|
| 住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合 | 69.2% | 74.3% |

* 市民意識調査の数値です。前期の基準年(H27)数値を目指します。

■ 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

L.G(地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げます。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--|------------------|--------------|
| 地域や社会を良くするために考えることがある割合(県:小57.0%、中43.9%) | 小55.9% 中40.0% | 県平均以上 高新規 |

* 現状は全国平均以上ですが、全国平均より高い県平均以上を目指します。

重点目標

3 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

アクションプログラム

■ 「人形劇のまちづくり」の推進

人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進めます。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--------------------|--------|--------|
| 市内で上演した人形劇公演数 | 498 | 500 |
| 人形劇で交流した国内外の交流数(回) | 11 | 15 |

* コロナ禍の後に交流を再開し、現状を超えることを目指します。

■ 文化芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進めます。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--------------------|--------|--------|
| 文化活動を1回以上行っている人の割合 | 63.9% | 65.0% |

* コロナ禍で抑えられた活動が再開し、これまでの最高値(64.3%)を超えることを目指します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--------------------------------------|------------------|-------------|
| 人の役にたつ人間になりたいと思う割合(全国:小95.2%、中94.3%) | 小95.5% 中95.0% | 現状維持 高新規 |

※社会を支える上で大切な視点です。高水準ではありますが、現状維持を目指します。

■ 飯田の価値と魅力の学びと発信

飯田の価値と魅力を学び次代に繋げると共に、その素晴らしさを発信します。

■ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

民俗芸能などの伝統文化や恒川官衙遺跡、飯田古墳群、名勝天龍峡などの地域資産を地域の宝として守り、発信します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|-------------------|--------|--------|
| 地域資源(指定文化財等)の活用件数 | 41 | 50 |
| 霜月祭・伝統人形芝居の保存会員数 | 202 | 現状維持 |

* 指定文化財数の4分の1の活用を目指します。

* 地域の文化を絶やさず継承していくために、現状維持を目指します。

■ 社会教育施設の整備、サービス向上

誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させます。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|------------------------------|--------|--------|
| 社会教育団体(文化・芸術・芸能活動)申請登録会員延べ人数 | 7,692 | 8,000 |

* 登録人数が減少傾向の中、3年前に登録の実績がある目標(R6)の値を超えることを目指します。

■ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。

■ 市民のスポーツ活動、コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|----------------------------------|--------|--------|
| 成人の週1回以上スポーツに親しむ人の割合 | 48.2% | — |
| 子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合(全国43.2%) | 38.5% | 全国値以上 |

* 「スポーツ」自体の定義や、スポーツ文化の浸透度合いなど、市民意識調査の項目をR3に見直し予定。それに伴い、目標値も適切に設定。

* 全国平均以下の状況。令和6年度までに全国平均を目指します。

■ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高めます。また、地域でトップアスリートを育てることができる体制を目指します。

■ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実します。

| 項目 | 現状(R1) | 目標(R6) |
|--------------------|--------|--------|
| 全市型競技別スポーツスクールの種目数 | 13(R2) | 16 |

* 多種のスポーツに触れる環境として、スポーツ協会とともに種目数を増加させます。

■ スポーツ施設の整備、サービス向上

誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させます。